



Coolant

Life

クーラント ライフ エクステンダー

▶ クーラント性能回復剤

EXTENDER

クーラント性能回復剤 クーラントライフエクステンダーのご案内

目 次

表紙

- P-1. LLC のトラブルとクーラントライフエクステンダーの必要性
- P-2. LLC の劣化とクーラントライフエクステンダーの性能
- P-3. 製品特長・セールスポイント
- P-4. 使用方法・使用上の注意



LLCのトラブルとクーラントライフエクステンダーの必要性

エンジンを冷却するロングライフクーラント(LLC)には各種の金属防錆剤が配合されており、これらの防錆剤は走行時の熱と酸化によって徐々に劣化します。そのため、LLCは一定期間での交換が必要であり、通常は車検ごとの交換(2年に1回)が一般的です。近年は、更に長寿命のLLC(例:トヨタ初回交換7年もしくは16万kmなど)が普及しておりますが、これらのクーラントも使用中に防錆剤は徐々に消耗しますので、定期的なメンテナンスが必要とされています。

LLCの防錆剤の消耗は使用環境によって異なり、特に夏場は気温が高い上にエアコンの使用などでエンジンに負荷がかかり防錆剤の消耗が早まります。また、激しい運転をしたり、山道や高速道路の走行が多い車はエンジンにさらに負荷がかかるため防錆剤の消耗が早まります。LLCの防錆剤が消耗したまま使用を続けると、冷却系等内部に錆が発生し、冷却性能の低下や錆の目詰まりによるオーバーヒートなどのエンジントラブルを引き起こします。

『クーラントライフエクステンダー』は耐熱・耐久性に優れた金属防錆剤を高濃度に配合しているため、使用中に消耗したLLCの防錆性能を強力に復活させ、さらにLLCの寿命を延ばすクーラントの性能回復剤です。

クーラントのメンテナンス不足は深刻なトラブルの原因!

- 多走行車 ●低年式車 ●長距離走行車
- 大型連休の渋滞 ●主要道路の渋滞

メンテナンスを怠ると
トラブルに!

トラブル1

サビによる水漏れ

防錆効果の低下による
冷却器の腐食・穴あき

トラブル2

オーバーヒート

放熱効果の低下による
エンジンへのダメージ

トラブル3

キャビテーション

消泡効果の低下による
冷却装置へのダメージ

LLCの劣化とクーラントライフエクステンダーの性能

■ LLCの劣化

LLCはエンジンから受ける熱と酸化などにより、性能(防錆・消泡)が低下します。LLCの劣化は目視だけでは判断できにくいケースもあり、液色が変化していなくても性能は徐々に低下していきます。また、エンジンから出る熱は走行時だけではなく、アイドリング時も影響を受けていますので、走行距離だけの判断ではなく定期的なメンテナンスが必要となります。劣化が進行すると冷却システム内部に錆びが発生し、冷却性能の低下や錆の目詰まりの原因となります。

■ クーラントライフエクステンダーの性能

- 消耗した防錆性能を強力回復し、ラジエータやエンジンの材質を問わずに優れた防錆性能を発揮し、錆やオーバーヒートなどによるトラブルからエンジンを守ります。
- 消泡性能を強化することで冷却能力の低下を防ぎ、さらにウォーターポンプの摩耗も防止します。
- クーラントの寿命を延長させます。
- スーパーLLCにも使用できます。



正常なラジエータ



錆びたラジエータ

製品の特長とセールスポイント

●長寿命型LLCに使用されている有機酸系防錆剤を
主体に濃縮配合(一般的なLLC原液の5倍濃度)



●LLCの防錆性能回復

従来型・長寿命型LLCを問わず使用可能

●消泡剤を高濃度に配合することにより、消耗した
LLCの消泡性能を回復させ泡立ちを抑制
(一般的なLLC原液の20倍濃度)



●LLCの冷却性能回復

気泡の発生を抑えて、オーバーヒートを予防

●液色は黄色を採用



●液色(赤・ピンク・緑・青)を選ばずに使用可能

●廃液処理問題の解消



●廃LLCの処理料金は200Lで約10,000円

大幅な経費削減に繋がる

●車検時のプラスワン商品



●低価格化している車検費用の単価アップ

●忙しく時間の無いユーザー様へのアピール

●スーパークーラントのメンテナンスにも最適



●長寿命クーラントも性能は劣化するので、
車検時の注入が効果的

使用方法と使用上の注意

■使用方法

- ①エンジンを止めてから冷却液系統を点検し、液漏れや不良箇所があればトラブルの原因となり易いため補修して下さい。
- ②冷却液が冷えたことを確認してからラジエータキャップを外して下さい。
- ③冷却液とラジエータ内の汚れ具合を確認して下さい。
※汚れや液の濁り・変色・悪臭等がある場合は洗浄後新液と交換して下さい。
- ④スポイト等で冷却液を300ml以上抜き取って下さい。
- ⑤本品を冷却水容量5～10Lに対して1本(300ml)をラジエータ本体へ直接注入して下さい。
※300ml以上抜き取れない場合はリザーブタンクに注入して下さい。リザーブタンクに注入した場合、速効性はありませんが、走行中に徐々に混合します。
- ⑥あらかじめ抜き取った冷却液をラジエータキャップの口先まで戻し、残った液はリザーブタンクに戻して下さい。
- ⑦本製品は1年に1回もしくは20,000km、目安に使用していただくと効果的です。

■使用上の注意

- 蒸気や熱湯により火傷をする危険があるので、冷却液温度が高温時にはラジエータキャップを開けないで下さい。
- 汚れた冷却液や冷却装置内に既に錆が発生している状態で使用した場合は所期の効果が得られません。必ず冷却液の状態をチェックして下さい。

■作業イメージ

ラジエータキャップを開ける



クーラントを抜き取る



クーラントライフエクстенダーをラジエータに注ぐ



車検や点検時には、
速効性のある
ラジエータ本体へ！

時間がない！
というユーザー様へは
リザーブタンクへ！